

2005年 扇状地・段丘 読図

〔Ⅳ〕 次の文を読んで、以下の問に答えなさい。それぞれの問で、最も適当な語句を語群から選び、その記号をマークしなさい。

この地形図には、横手盆地に入る前の雄物川の様子が示されている。雄物川の谷底平野の東側には、隣接する山地から流下する河川の谷口に、複合(1)が見られる。ここは主に果樹園として利用されている。

雄物川の流路沿いの低地はこの川の(2)であるが、主に水田として利用されている。等高線だけでは判断しにくい、この地形図の西縁に近い酒蔭付近などにはかつての(2)であった河岸(3)も認められる。横揚や新木野の集落の主要部分は、周囲からすると多少の高台となる(4)上に位置している。

(1)は雄物川谷底平野の西側には分布しない。東側だけに分布する主な理由は、東側には南北に(5)が走っており、東から流下する河川の谷口で急激に川幅が広がり、さらに運んできた砂礫^{れき}を堆積する場が提供されてきたことである。(5)の存在は、山脚が切断された三角末端面の分布からも判断できる。この地形図では、複合(1)を構成する個々の(1)の規模は北に向かうほど小さくなっている。その理由は後背の(6)が小さくなることと対応している。

問(A) (1)～(6)に入れるのに最も適当な語句は次のいずれか。

〔語 群〕

- (ア) 雨 量 (イ) 沖積錐^{すい} (ウ) 砂 州 (エ) 褶 曲^{しゅう きよく} (オ) 崖 錐^{がい すい}
(カ) 断 層 (キ) 扇状地 (ク) 三角州 (ケ) 段 丘 (コ) 氾濫原^{はんらんげん}
(サ) 自然堤防 (シ) リニアメント (ス) 流域面積 (セ) 地形面の傾斜

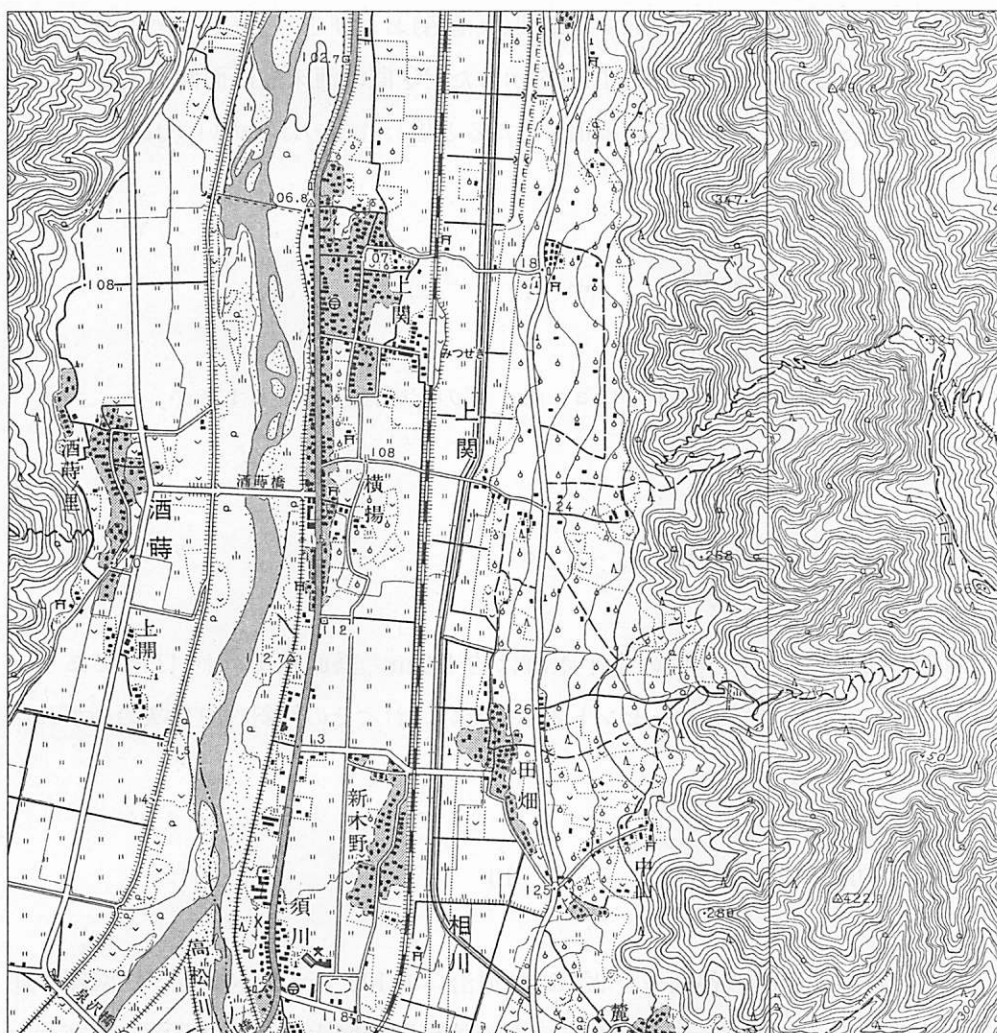


図 1

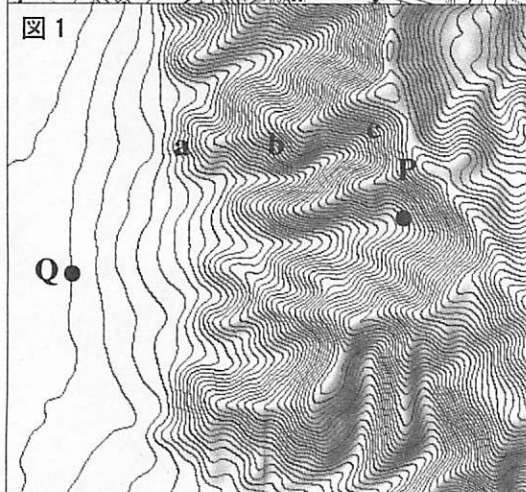
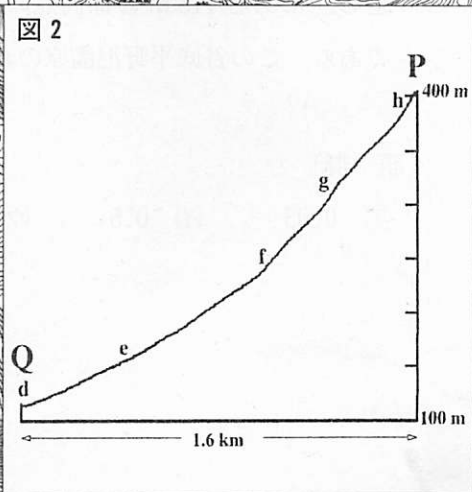


図 2



問(B) この地形図南部に位置する田畑(集落名)およびその上流部の等高線図を図 1 に、さらに図 1 の●で位置を示した PQ 間の河床縦断面図を図 2 に示している。図 2 において、扇頂に当たると思われるのは次のいずれか。

〔語 群〕

(ア) d (イ) e (ウ) f (エ) g (オ) h

問(C) 三角末端面は、図 1 では a, b, c のどの付近に該当するか。

〔語 群〕

(ア) a (イ) b (ウ) c

問(D) 図 2 で、d－e 間の水平距離は約 420 m、垂直距離は約 42 m である。
d－e 間の傾斜をパーセント表示したい。およその傾斜(%)は次のいずれか。

〔語 群〕

(ア) 0.1 (イ) 1.0 (ウ) 10

問(E) この地形図の谷底平野北部の国道沿いの 102.7 m の水準点と、南部の鉄道の西にある 118 m の標高点の間の地形図原図上での直線距離は 126 mm である。この谷底平野氾濫原のおよその傾斜(%)は、次のいずれか。

〔語 群〕

(ア) 0.05 (イ) 0.5 (ウ) 5

(以 上)